

豊前街道 コース

みまげ
御馬下の角小屋～植木学校跡

豊前街道コース第2弾。今回は、「御馬下の角小屋」から「植木学校跡」までの約4.5kmのコースです。国道3号線を北上しながら往時を偲ばせる旧道と西南戦争関連のスポットをめぐるります。



3 かなくぎざか 金釘坂

明治生まれの作家・徳永直の小説『最初の記憶』に登場します。徳永は貧乏だった家の手伝いで、弟と共に馬車を引いて黒髪から植木まで魚を売りにこの街道を通っていました。本来の鹿子木という地名からか、小説では金釘坂という名称で当時の坂の様子が描かれています。…そういえば少し高低差が残っています。



2 よもぎ つけたりこうしんとう 四方寄六地藏付庚申塔

六地藏は、救済や悪疫流行からの護持のため、戦国時代につくられたもの。地藏尊像は、一般的には蓮華座に乗ったものが多い中、この六地藏は雲に乗っているという点で珍しい。その横には四方寄の庚申塔が建立。中央に鬼を踏みつけた青面金剛像、その左右下には向かい合って立つ2人の童子を見ることができます。〈市指定文化財〉◎産交バス：四方寄バス停



MEMO

4 二里木跡



豊前街道の基点（新町一丁目札の辻）から二里（約8km）の地点。ここから植木、鹿央、山鹿、南関へと続きます。
◎産交バス・鹿子木バス停





10 河原林少尉戦死の地

明治10年2月22日、熊本城籠城軍に加わるため南下していた乃木希典率いる第14連隊は、熊本城を包囲していた薩軍の一部(村田三介隊)と激突。その際、第14連隊旗手の河原林少尉が薩少村田三介に軍旗を奪われ戦死した地と言われています。

放牛地蔵



7 明徳官軍墓地

西南戦争の際、最前線と熊本城の中間に位置する向坂の地では2回の戦闘があり、この墓地には、将兵軍夫123柱の墓石が並んでいます。主に3月20日の向坂の戦いの戦死者のお墓です。〈県指定文化財〉◎産交バス:向坂バス停



11 植木菅原神社

植木天満宮とも呼ばれています。ここは、官薩両軍の緒戦(しょせん)の地であり、田原坂をめぐる激戦の戦端が開かれました。春には梅の花、秋には銀杏の紅葉を楽しめます。◎産交バス:植木宮の前バス停



12 恵比須神社

植木町商店街の繁栄と地域住民の守り神。植木中央土地区画整理事業に伴い、平成25年10月にこの位置(南側へ2m)に移設されました。◎産交バス:植木バス停



14 植木学校跡

明治8年4月26日に開校。ルソーの民約論を经典とし、宮崎八郎らが中心となり自由民権主義者を養成しましたが、戦闘訓練などで県と反目し補助金を打ち切れ、わずか半年で閉校しました。◎産交バス:植木バス停